

## 第4回区民版子ども子育て会議議事録

### 子ども・子育て楽（学）会について

平成27年11月19日 18時30分～21時

参加者：

#### ■しゃぶしゃぶグループ

- おなかの中のあかちゃんの人権
- 妊娠中のお母さん支援をしたい
- 保育がサービスになった時にキャリアの女性のため昼休みに子どもの様子を見せる➡子どもの人権にとってどうなのか？
- 小さな人の人権を忘れていないのでは
- あかちゃんをエビデンスでなくてもいいのでエピソードとして
- 子ども若者部ができたが、若者の規定が39歳 ひきこもり
- サービスの箱ものはどうなのか？本当のニーズに答えているのか。子供たちやママの声を聴いてほしい。オルパの時、若者は「自分たちは勉強する場所が欲しい」といったことがあった。中高生や若者のニーズにあっているのか若者の声を聴いてほしい
- 分科会で別れるのではなく、一つのところで聞きたい。
- 分科会の分け方は年齢別ではなくテーマで分けて部屋の中でいろんな年代があるといいのではないか。
- 子どもの権利条約は拒否感があるかも、柔らかい感じでは？  
大事なことなので拒否されないように柔らかく伝えるには？ジェネラルコメント17番目？

#### ■やみ鍋グループ

- どういう人に来てほしいのかイメージから
- 子どもも3歳になったら支援者だよ、自然な流れでそろそろやりたいねという人に来てもらうといいのかも
- ただ活動を発表して終わりではない。活動の意味づけとかが必要
- 分科会は人へは何人くらい集まるのか？会場のキャパは？  
会議室A・B42人 会議室D30人、多目的室90人
- 会場（がやがや館）から遠いエリアの人は来られないのかも。
- 子育てメッセとの違いを意識したい
- テーマはどんな感じ
- 年齢は縦に同じテーマになるように、乳幼児は妊婦から縦で考える

#### ■しし鍋グループ

- どういう人に来てほしいのか？
  1. 学校の先生に来てほしい（小学校で問題が多いので）  
学校の先生自身が自分の子どもが保育の時期に本当に関わったことが無いのでは？  
発表を聞くことで、学校での子どもの問題に対処できるようになるのではないか。

## 2. 保育園に行っていない保護者

保育園に行っていない7割の人はどこへ？

うちの中で繰り返ししまじろうを見せている？

お母さんが所属していない（保育園など）時期は、集めて教育をすることができない。

遊びが必要だと思わないでいるのかもしれない。

## 3. 学生にも来てほしい。

### ▶ 内容はどうするのか？

運営の苦労等、調査して冊子でもいいのでアンケートでいいのでみんなのアイデアを知ることができるといい。運営する人にとって欲しいコンテンツ

### ▶ 可視化って何だろう

どういう風に誰にみせるのか？

### ■発表してほしい人について

松田：自分たちの活動を発表したい人（挙手はなし）

どの場で発表したいのか？ ポスターセッションもある

### ★発表で寄付が集まるかも

お金をくれる人を集めてはどうか

➡どこに寄付したらいいかわからない人を会場に集めるのは)

質問：(柳沢さん)

発表を募るわけですね？分科会にふさわしい発表をするのですが、活動紹介？

活動をやって、こういう成果が「地域がどう変わったか」を言うことですか？

研究者の立場でコメントをするのであれば、わたしは研究社等を紹介ができる

松田：地域がこうなってほしいと思ってやっているはず。好きでやっているでしょうというよりもニーズがある。予防でどういう効果があるのか

その心配が先取りで活動していたはず、効果がすぐには出てはいないが

村上：ちょい町会 団体の発表が大人のインターンシップの受け入れをおこなっている

ちょっと、社会活動をやってみたいけどやれない人が多い。子どもがいなくて働いていなくて活動をやってみたいと言ってくれた人がいた。

ゆるい感じだが実際にどんな活動をしているのか伝えていく。

助成金申請の時等、来てもらわないとわかってもらえないことがある。

理解してもらい、そこで「行ってみたいな」と思ってもらって、その後、実際の現場にきてもらうといった繋がりを持てるとよい。そして顔が繋がっていくことが大事。

松田：課題の発表をしてもいい。その課題にアクセスしてくれる人がいるはず。

植田：ビオキッズ3年目 外遊びのすそ野を広げるためのに開催している。どうやって外遊びの

ハードルを下げるのか、ゆるくちょっとおしゃれでやって、子どもが遊んでいる姿を見せていく。  
どうやって試行錯誤して工夫して、アプローチをしていったのか発表はできる。  
3年間の積み上げを見せていくと面白いと思う。

■分科会セッションをどう分けていくのか

子どもを取り巻く「こんなこと」が心配という、テーマがあって分科会があるのでは。

「子どもは幸せか？」とか

「子どもがいきいきわくわく育つまち」であって、「子どもの生きる力を育む」ではない  
子どもが幸せでないと社会は出来上がらない。

してあげるのではなく、結局は自分たちのため

■大テーマはなんでもありだが分科会はどうするのか。

- ファンドレイジング 専門家を呼んで受講もいいのかも  
まちづくりファンドが集めたデータなどがあるのでは？

- 外資系の金融でファンドの運営をしたひとがいた

江東区で講座があった、認定 NPO 寄付をもらうくらいなら自分たちでやろうとか、協働のプロ  
ジェクト発表などはどうか？

- 日々に活動に追われてつながり方がわからない

こういう風にやると包括的にみんなでやるのが大事とわかっていく かき回すようなことが大  
事

- 映像 ドキュメンタリー（15分）を上映するのはどうか？ こんな形で活動の発表もできる  
ことを見てほしい
- 今の子育て世代のセンスに応える アートな部分が必要

■企業の方がいらしているので、ここで活動などの感想やご意見を頂きたい

佐々木さん：私は遊具を販売している。経歴上でも地域に根付いてやっていう考え方がないので、  
そういった考え方を伝えていくというのは、通常考え及ばない。

東京商工会議所せたがや支部などのオファーをかけて区内の企業に耳を傾けさせるのはどうか？。  
企業とつなげるだけでもいいのではないかな。

村上さん：水辺の學校を二子玉川でやっているが、興味を示してくれる企業の偉い人もいる。

今後、新し展開があるかと思う 楽天も興味を示している社員と一緒にきている。

こういうことをしていますよという理解してもらおう。

外遊びをしていない大人にどう伝えるのか？

子どもを連れてくるのは大人、子どもだけでは来られないし、大人も楽しくないと来ない

★企業と結びついた時にその先のお客さんがいる、その先につながる

## ■その他、アイデア

- 楽（学）会にきたらその後のアクションがある
- 会場内に、ちょっと行ってみたい、知ってみたいツアー申込の場所がある。
  - 興味があったNPOにはその後、会いに行けます。その日のスタッフになれますなど。
- 年代で切らない

## ■テーマ

1. 伝える（表現・アート） ➡ デザイン、誰に何を伝える
2. すべての子どもの遊び ➡ 屋内でも外でも
3. 連携・協働プロジェクト ➡ （どうやって巻き込むか）（どう伝えるのか）

## ■どういう人に発表してほしい？（どんな活動をしているのか興味がある団体）

発表はいつも登壇するような代表の人ではなく実際に活動している一般の人が良いのでは  
（前回の会議での意見）

- ◇ そらまめのお母さん
- ◇ トムテ葛西さん
- ◇ きぬたまあそび村
- ◇ 船橋児童館で育ったおとな
- ◇ 夕食会（烏山）いっしょにご飯を食べる
- ◇ 凸凹キッズスペース
- ◇ TOKYOPLAY
- ◇ 区民版子ども子育て会議
- ◇ 岡さんの家
- ◇ 自主保育風の子
- ◇ 野毛（オルパのその後）
- ◇ 東急電鉄（協働のところで）
- ◇ ゆるとひあ（20代）
- ◇ 笑景館
- ◇ 初めてのママチャリ
- ◇ 大きな木の子ども達のドキュメンタリー（伝え方）
  - ・ 嶋村さん ➡ まとめる人で来て頂きたい

## ■世田谷区はどのようなかわりなのか？

広報してくれる

会場を手配してくれる（減免？）

学校の先生を呼ぶとなると、協力をお願いしてはどうか？

## ■その他

他の分科会も見たいので録画してはどうか。

発表のあとの出入りがあると面白い。

発表者には抄録の代わりにアンケートを送って回答を頂いて資料にしてはどうか？

※質問項目は大事

項目を作って、写真と絵をいれてもいい

募集要項を作って募集➡まちづくりファンドの申請書のようなもの？

20代部門を作っても面白いのでは？

#### ■費用に関して

会場費、講師謝礼などはせたがや子育てネットが企業から頂いた寄付金を供出する予定。

資料代 500 円

#### ■事務局から

メールで議事録とアンケートのたたき台を送るのでコメントなどを返信してください。

次回は来年開催の予定。

場合によっては経堂の事務所で夜ぶりとして運営会議を開催予定